

大願口説

一、雲霧も嵐に消えて長月や
名立てる月の影さやか
いづれも押しつれ立出でて
月見に酒盛さても面白
チンチルレンサ
照りよ渡ゆる月影やさて見事
二、桜花梅の匂に誘はれて
老も若きも諸共に
立ち出て山々川の辺に
花見て日暮らしさても嬉しや
チンチルレンサ
花の色々露うけてさて見事

(組踊「花売の縁」)

一、大願したてまつるは権現に
又も観音大菩薩
おみやに立寄り伏拝で
火の神御前さても嬉しや
チンチルレンサ
御願人数お仕度やさて見事

(本歌は斐氏工工四所載)